



美咲(どうしよう…授業中なのにつ…)

保健体育の授業中。性行為についての説明を聞いているうち、勃起しそうになってしまう。

先生「いい？マンコの奥までチンポハメて、どぴゅつとザーメンをぶちまけたら赤ちゃんができるのよ。射精については、この後誰かにお手本になってもらいます。実際に射精する所が見られるわよぉっ♡」

美咲(先生がチンポしゃぶりただけでしょ…
こんなのが授業なんて…)



生徒「先生、マンコってどうなってるのか知りたいんだけどw先生の見せてよw」

先生「ふふ♡いいわよぉん♡おばさんマンコの中身、じっくりと解説させていただきます♡」

生徒「マジかよ先生w性欲溜めすぎw」

美咲(勃起しちゃうダメだ…見つかったら絶対ただじゃ済まない。)

がつぱあああ♥

教卓の上にガニ股で座り、使い込まれたマンコを広げる先生。
蒸れたパンティを投げ捨て、マン汁をたらしながら解説をはじめ。

先生「はあゝい♥これがクリトリスよ♥」

美咲(うつわあ…何あのデカクリ…)

生徒達の前に晒されたクリトリスは、
チンポの様にギンギンに勃起していた。

そしてそれをシコシコしごきはじめる先生。

先生「おつふうう♥早く外に出たがつてたから
気持ちいいわあ♥おつ♥」



先生「こうやってシコシコしたらねっとりした本気汁が出てくるのよ♥
本気汁を溢れさせたら、チンポの滑りがよくなりますから、あなた達も性行為の時は
相手のクリをフル勃起させてあげなさい♥おふっ♥イクッ♥」

生徒「先生イクの早すぎでしょWいつてないでちゃんと説明してくださいーい」

美咲(チンポ…チンポ…♥す、少しだけならバレないよね…)

先生「ほっ♡ほっ♡ほっ♡次はマンズリッ♡こうやって指をぶっこんで♡ぐりぐり♡って…
…あらあらあら♡チンポフル勃起させてる子がいるわね♡貴方は…美咲さん？」
美咲「はっ…!! やっやばっ♡これはちがくて…」
先生「すごいわぁ♡まるで獣ね♡極太でたくましい…♡チンズリのお手本はあなたに決まり♡」
美咲（し、しまったぁ…）



先生「そのぶっといチンポからどれだけの精液が出るのかしらね♡楽しみだわ♡
さ、前に来なさい！毎日オナニーしてるんでしょう？いつもみたい、
ぶりっ♡とザーメン♡キ出してくればいいから♡」
マン汁まみれでケツをふりたくり誘ってくる先生。それを見て美咲のチンポはガチガチに勃起し、
射精しなければ治まる事はないだろう。

ガタッ！

穂村「せ、先生っ!! よければ私が美咲ちゃんのおちんちん射精させてもいいですかっ!!」

美咲「穂村っ…♡」
席を立て、ぶるんっ!とデカパイをさらけ出して先生にお願いする穂村。
先生「いいでしょう♡」



先生「二人とも前へ。美咲さん、とびきりぶっ濃いのを出さない♡」

穂村(先生に搾り取られるくらいなら私が…!!)

先生は教卓から降りて、ガニ股でマンズリを続けている。

チンポとおっぱいをぶるんぶるん揺らしながら、美咲と穂村は前に出た…。

びつちりと張り付いていたゴムを取り払い、すぐさまチン先にキス♥
生徒の目も気にせず、チンポとティーツプキスする様にむしゃぶり回す♥

穂村「んっ♥美咲ちゃん、チンポしゃぶるの初めて♥ぶりぶりして美味いよ♥」

あむっ♥はむっ♥はむっ♥

こぶし、大も、あり、そう、な、デカ、亀頭、に、美味、し、そう、に、む、し、や、ぶり、っく。

美咲「んほっ♥」

べろっ♥むちゅむちゅ♥レロレロ♥むちゅっ♥

先生「今穂村さんがしているのがフェラチオですよ♥あなた達もチンポしゃぶる時の参考にしなさい♥」

美咲「んお♥そ、そ、そ、っ♥ぎ、ち、い、っ♥

も、っ、と、舌、か、ら、め、て、舐、め、ま、わ、し、て、え、ん、お、お、っ♥

穂村「ふっ♥ふっ♥カリの、と、じ、よ、う、は、く、て、美、味、い、い♥

全、部、な、め、と、っ、て、綺、麗、に、し、て、あ、げ、な、ぎ、や、ね、ん、む、っ♥

ふ、わ、ふ、わ、で、か、つ、ず、し、り、と、実、っ、た、お、っ、は、い、で、挟、ま、れ

先、っ、ぽ、を、し、っ、と、く、攻、め、立、て、る。ふ、た、な、り、の、生、徒、達、は、そ、れ、を、羨、ま、し、そ、う、に、眺、め、

穂、村、が、舐、め、る、の、に、合、わ、せ、て、亀、頭、を、撫、で、ま、わ、し、て、い、る。

先生「上手いわね穂村さん♥練習してたのかしらあ♥」

穂村「はいっ♥んむっ♥いつでもお口で出来るように、極太ティルドで練習してました♥にゅむっ♥ぐぽっ♥」



美咲「へっ♡へっ♡へっ♡んひひひひひ☆吸いつきながら舐められるのしゅげえ☆チンポキクウ☆」
先生「オホッ♡下品なひようと顔♡良いわよお♡その調子♡もっと下品に舐めまわしなさい♡」

先生は変わらずひたすらオナニーしている。先生のむせかえるような淫臭で満たされた教室はぬほつ♥ぬほつ♥と間抜けな声を出しながらオナニーにふける先生の声が響いていた。

オカス美習よう♡みんな好きにマシスリぶごきなさい♡♡丁度いいオカスもあるしね♡ラホッ♡」

すりゆ♡すりゆ♡すりゆ♡めち♡めち♡めち♡

A close-up, vertical view of a person's head, focusing on the ear and hair. The hair is dark brown and styled in a short, textured cut. The ear is visible, showing the outer ear and a small portion of the ear canal. The background is a solid, light green color.

穂村「にゅぶっ♡にゅぶっ♡お口の奥までチンポ飲み込む」

練習もしたから試してみるね♡全部飲み込んであげる♡」

美咲「マジッ!? ロマンコされてみたかったの♡ふひっ♡」

「楽しい♡」

生徒「はあ……はあ……嘘……穂村さん、あのチンホ全部喰

生徒「これは見物ね……あんなの唾えたら顎外れちゃうわよ」

先生オッ♡ホォオッ♡イクイクイク♡マシタ

生徒「ちよこと先生え！イキ狂っちゃで、授業する気ないで！」

ちゅぽぽお~~~~♡♡♡むぐ♡♡ぶぐ♡♡~~~~♡♡
美咲「おッ……♡おほほ♡すけ♡すけ♡♡回マンコバキューム♡チンポに超キク♡んおお♡」
穂村「んむぐ~~~~♡♡♡ぶちゅ♡♡ぐぶ♡♡」
ストロークするたび、くちびるにカリの反り返しがぶり♡♡と引かかる。
むちむちの唇にカリが引つかかる度に美咲はオホッ♡と喘いだ。
穂村「じゅぽ♡♡じゅぽ♡♡じゅぽ♡♡じゅぽ♡♡フワッ♡♡フワッ♡♡」
美咲「うおお♡♡イツ♡♡イク♡♡射精くる♡♡くる♡♡」
穂村「むぐう♡♡ちよ♡♡とま♡♡へ！根元まです♡ぽし入れるから♡」
美咲「はやく♡♡ザーメン我慢できにや♡♡♡♡♡射精したい♡♡」



ドクッ♡ドクンッ♡
チンポの脈動が直に伝わってくる。
射精が近づいたチンポは更に大きくなり、
チンポは痛いくらいに引つ張られている。
穂村「こりえ♡♡入るかな♡♡ん♡♡」
小さい口を思いつ切り広げて飲み込んでいく。
生徒A「吐きそうにならないのかな……」
私なんて20センチチンポも飲み込めなかったのにすごい……」
生徒B「……あんた、それ私のチンポの事じゃないわよね？」
生徒A「え……そうだけど……ちよ♡♡♡何チンポ出して……むち♡♡おッ♡♡♡♡♡」
生徒B「マン」が調子こいたこと言いやがって……オラ♡♡喉マン♡締めろ♡♡」

ぐっぽおおおおおおおお!!

穂村「ぶっふうふう!!♡ふうーッ♡ふうーッ♡おえっ♡おふ♡」生徒「うっそ…あのデカマラ根元まで啜えちゃったよ…。」

穂村「み、美咲ちゃ…出ひていいひよ…んっ…ごほう…」

美咲「出る出るっ…♡我慢させられてタマになった激濃ゆザーメン出るっ♡」先生「穂村さんに全部搾り取られそうね…♡私にも残しといてね美咲さん♡」

ぐびゅっ…ぐびゅびゅっ…

穂村「キンタマから精子が昇ってくるのわかる♡

きてっ♡お腹の中ザーメンで満たして…♡」

喉から食道までチンポで詰まらせながら射精待ち。

息ができず白目を剥きながらも、ぐっぽりと啜えこんだそれを離そうとしない♡

必死に踏ん張っているが、マンコもケツの穴も

後ろから見たらパンツ越しに丸見え。

ガニ股でつま先立ちになりながらぐりゅりゅっ♡と

頭を押し付ける。

穂村「チンポうまつ♡タマまで啜えて舐めまわしたいけど流石に無理っ♡」

美咲「それヤハッ♡キンタマ押されてザーメン催促っ♡

イクイクイク♡」



どびゅびゅ~~~~~♡ぶりゅっ!!びゅるるっびゅるん!!
穂村「どほおおっ!!んぶっ!!どきゅッ!!どきゅッ!!どきゅッ!!」
美味「おっほ♡出る出る出るっ♡」
どびゅびゅっ!!びゅほっびゅるお~~~~~♡どびゅ~~~~~!!
穂村(ん)おっ!!飲みきれないッ!!ザーメン溢れちゃうっ!!うっおっ!!
顔の穴という穴からザーメンが溢れてくる。
飲もうとしなくても、暴力的に胃にザーメンをたたきつけられる。

ドクッ!!ドクッ!!

ドクッ!!
びゅるっ!!

どびゅびゅ~~~~~♡
どびゅびゅ~~~~~♡

先生「はあっ♡はあっ♡みなさん、これが射精ですよ……っ……」
他の生徒たちはみな性交中で、もはや誰も見ていなかった。授業崩壊である。
パンパンパンッ!パンパンパンッ!
「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」
「どちゅっ!どちゅっ!どちゅ~~~~~っ!!」
「おほっ♡マン♡マン♡マン♡」
先生「マンスリに夢中になってる間、こんな……」
若いっ……いっわねえ♡先生も混ぜなさらっ♡」

美咲「~~~~~♡全部出る~~~~♡ぎもちい♡公開射精最高♡」
ごびゅっ…ごびゅっ…ごびゅっ♡
穂村「おこ…♡ごっ♡ごっ♡ごっ♡ぶち♡」
先生「二人とも大丈夫かしら？♡穂村ちゃん痙攣しちゃってるわよ♡」
授業はいいから、二人とも休憩してなさい♡
美咲「はへへへ…♡すみません…♡きもちよすぎて動けないでしゅ…♡」
穂村「ごへっ♡んもおっ♡ぬっ♡ぬけなっ♡チンポ抜けないっ♡なんです♡」
もう息できないっ♡死ぬ♡ザーマンでおぼれて死ぬ♡嫌っ♡こんな間抜けな死に方っ…♡」

はぁ

はぁ

穂村は窒息しながらもイッていた。
必死に引き抜こうとするが、
イッた反動で力が抜けていつてしまう。
穂村「んむっ…♡美咲ちゃん…おねが…
自分で抜けなくて…抜いてっ…♡」
美咲「はへ…♡分かった…♡」
ちよつと待つて…♡余韻やバくて動けないから♡
穂村「んん…♡ッ！！んん…♡ッ！！」
穂村「死ぬ！！マジで死ぬっ！！うごおおおっ！！」
意識が遠のいていくが、まだ美咲は動こうとしない。
美咲「はあ…♡ザーマン全部出さった♡
今抜くからね♡」
穂村「……」

びしょ♡
びしょ♡
びしょ♡

んんん

びしょ♡
びしょ♡
びしょ♡



ずるろろお…♡
穂村「ッふう——ッ♥ふう——ッ♥ふう——ッ♥」
気絶するギリギリの所でチンポが引き抜かれた。
カリまで抜かれると、その出来た隙間から息をした。
鼻から一気に息を吸うと、ザーメンの匂いも
同時に入ってくる。
その匂いでまたイッてしまう穂村。

美咲「ふうふう〜っ♥気持ちよかったあ…
ごめん、気づけなくて…保健室行って休も?
射精したら眠くなってきたやつだし…」
みんな二人の事は気にもとめずに交尾しまくっている。
保健体育の授業の後はいつもこうだ。
次の授業の担当は後始末が大変だろう…。
保健体育の先生もこっぴどく叱られるだろう。
もちろんチンポで…。

ずる…♡



「えく…それでは穂村さん、ここをお願いします。」
穂村「はい先生。えくと…」

美咲（どうしよ、別にHな事考えてないのに…）

美咲（ふく…落ち着けば大丈夫…）

むちっ♡

ぐぐ…♡

もじ…

もじ…

んっ♡



美咲(ちよっ…!なんでもっとおつきくなつて…
いやっ!勘弁してよお…)

ぐぐぐ…♡

美咲(バレちゃうっ…!!)

むちっ…♡

みちっ♡

んっ♡

んっ♡



ビクンッ!!♡ビキビキビキ…♡
生徒「き…きやああっ!!」
先生「なんですか急に…ひっ?」

美咲「あああ…!」

先生「み、美咲さん…?」

美咲「い…いやっ…」

びんっ

びんっ



ひそひそ…

生徒達「やばくない？あれ…噂マジだったんだ…」「美咲、めっちゃめっちゃチンポデカいって噂…」
「穂村さん、あれで犯されたらしいいよ？ヤバイよね…」

穂村「……」

先生「皆、静かになさい！」



どくっどくっ

どくっどくっ

どくっどくっ

ぐいっ

美咲「うっ…♡みんなにめっちゃチンポ見られてる…！やばっ…いかも♡」

どくっ♡どくんっ♡どくんっ♡

生徒達「うわ…なんかグロいね」「めっちゃビクビクしてる…」

美咲「……♡なんか変な感じ…っ♡ダメ…なのに…っ♡」

お

「おれ様」

ハッ

[illegible]

イニシャル

又ーオオオ

先生「美咲さん：…っ！や、やめなさ：…」
美咲「マンコは黙ってチンポだけ見てろ」

オッ!!このエロメス教師がッ!!♡」

先生「……ごめんなさい……」
ずりゅッ!!ぼりゅッ!!どっりゅびゅびゅびゅびゅぶ!!ずばオツ!!

びん

生徒達「嫌あつ!! 私帰るっ!!」「ひいいつ!! 犯されるっ!! 逃げよっ!!」
先生「み、みんな落ち着い……」

ドボオオオオ!! ゴツビュルビュウ~~~~ッ!!

びゅるびゅる
ぽいぽい
ぽいぽい

ぽいぽい
ぽいぽい
ぽいぽい



ごぼシ♥ぶぴっ♥

穂村「…みんな行っちゃったね」

美咲「や、やっちゃったあ…私終わったかも…♥」

穂村「私は美咲ちゃんの味方だからね…♥」

…お掃除、してあげる♥」

美咲「へっ…?♥」

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい



ごぼッ♥ぶぴっ♥

穂村「…みんな行っちゃったね」

美咲「や、やっちゃったあ…私終わったかも…♥」

穂村「私は美咲ちゃんの味方だからね…♥」

…お掃除、してあげる♥」

美咲「へっ…?♥」

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥



穂村「んむっ♡べろっ♡れろっ♡いつ見ても美咲ちゃんのカリでつか…♡んむっ♡」
べろべろべろっ♡

穂村(ザーメンこつめ…♡舌にびりびりくる…♡)

美咲「うあっ♡そ、そんな舐められたらまたムラムラきちゃうってばっ♡」

おねっ♡

穂村「まだチンポガッチガチなんだもん
まだ射精したいんでしょ♡」

美咲「ううっ♡うん…じゃあ、もう一回だけ…」



ぐびゅっ!!ぶびゅ~~~~~!!すびゅっ!!
美咲「おおお~~~~っ♡イック……♡くおおっ♡」

穂村「おじおおっ!!量えっぐ……ッ!!」

オオ~~~~♡

どくっ!!どくっ!!

穂村「んっつぐ!!じゅっ!!じゅっ!!」
(直接胃につ……!!♡あっ……!!♡)

美咲「うおおっ♡♡絞られりゅっ♡♡」

びゅんっ!!びゅんびゅん……

ぎゅっ!?

びゅっ!!♡♡
ぽびゅ~~~~♡♡



いぢゅっ…いぢゅっ…いぢゅっ…
穂村(射精)…っ…長っ…♡うっぶ…おっっ…)

美咲「おっほお…♡」

ガララッ…

風紀委員長「なっ…」

お前達か、騒ぎを起こしたのは…
なんだその様は…全く…」

美咲「い、ごめんなしい…」

穂村「おっっ…べいっっ…」

風紀委員長「校内での性交はダメだと
言っただろう。二人とも、後で私の所に来い。」























